



統計スポット情報

No. 18

10.9.30 福井県総務部情報政策課

小売業販売額、初の1兆円台！！

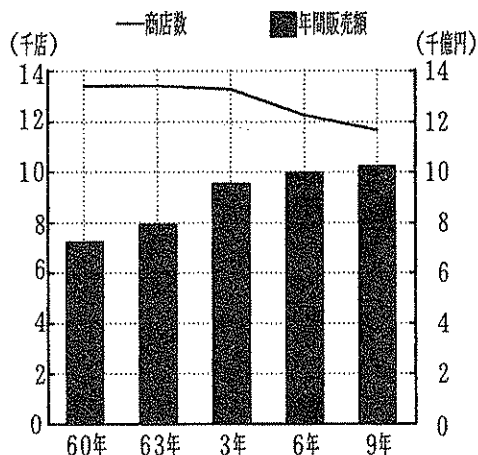
今回は、平成9年商業統計調査結果から、福井県の小売業の動向をみてみましょう。

図1 商店数、年間販売額の推移

◎商店数 ー昭和60年以降連続して減少ー

平成9年6月1日現在の小売業の商店数は11,680店で、前回調査（平成6年7月1日実施）より594店（前回比Δ4.8%）減少し、昭和60年以降連続の減少となりました。（図1）

産業分類別の商店数の構成比をみると、飲食料品小売業が34.8%と最も高く、次いで医薬品・化粧品小売業、燃料小売業などを含むその他の小売業30.6%、織物・衣服・身の回り品小売業16.7%の順となっています。（図2）

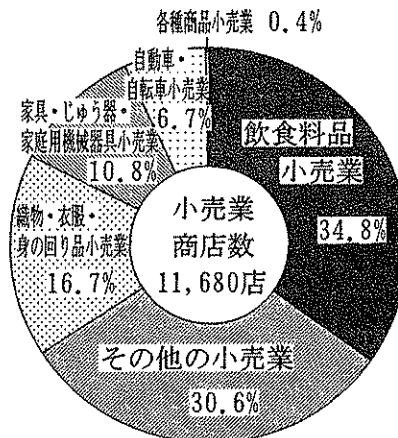


◎年間販売額 ー初の1兆円台となるー

小売業の年間販売額（平成8年6月1日～平成9年5月31日）は、1兆236億円で前回より239億円（前回比2.4%）増加して、初の1兆円台となりました。（図1）

販売効率をみると、1商店当たりの年間販売額は8,763万円で、前回に比べ618万円（前回比7.6%）の増加となりました。

図2 産業分類別商店数の構成比



◎業態別動向

ーコンビニエンスストアは大幅増ー

コンビニエンスストアの商店数は224店で、前回に比べ60店（前回比36.6%）の増加、また年間販売額は248億円で、前回に比べ61億円（前回比32.0%）の増加となりました。（図3）

図3 コンビニエンスストアの商店数、年間販売額の推移

（注）商業統計調査におけるコンビニエンスストアとは、下記の条件をすべて満たす商店をいいます。

- ① 売場面積が30㎡以上250㎡未満である。
- ② 売場面積の50%以上でセルフサービス方式を採用している。
- ③ 営業時間が1日14時間以上である。
- ④ 飲食料品を取り扱っている。

